

# 2009年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会

---

平成20年10月30日



日本アビオニクス株式会社



# 会社概要

- 設立 : 1960年4月8日 (NECとHughes Aircraft社との合併)
- 資本金 : 51億45百万円 (1988年、東証二部上場)
- 製品 : 情報システム製品、電子装置製品、製造装置製品
- 従業員 : 1331人 (2008年9月連結)
- 代表取締役執行役員社長 : 鈴木 俊一
- 本社 : 東京都品川区西五反田
- 事業所 : 横浜事業所 (横浜市 瀬谷区)  
相模事業所 (神奈川県 高座郡寒川町)
- 子会社 : 山梨アビオニクス株式会社  
福島アビオニクス株式会社  
日本アビオニクス販売株式会社  
NEC Avio赤外線テクノロジー株式会社
- 株主 : NEC : 50.004%、他 : 49.996%

# 主要製品

## 情報システム製品

表示音響装置、  
指揮・誘導装置、  
電波応用装置、HIC



## 電子装置製品

赤外線機器、プロジェク  
タ、RFID、情報端末



## 製造装置製品

接合機器、外観検査装置、  
超高多層プリント配線板



- 【売上高】** 前年同期比△35.5億円(△19.5%)
- ・ 情報システムは大型プロジェクト端境期により大幅減
  - ・ 民需は景気減速により前年並みに留まる
- 【営業利益】** 前年同期比△9.6億円
- ・ 売上減により営業赤字の計上
- 【特別損失計上】** たな卸資産評価損(2.6億円)計上  
「棚卸資産の評価に関する会計基準」対応
- 【キャッシュ・フロー】** 有利子負債削減(前期末比△8.7億円)

# 2009年3月期 中間決算

(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
売上高	181.7	146.3	△ 35.5	△ 19.5%
営業利益 (営業利益率)	8.1 4.5%	△ 1.5 △ 1.0%	△ 9.6 △ 5.5%	—
経常利益 (経常利益率)	7.2 4.0%	△ 2.4 △ 1.6%	△ 9.6 △ 5.6%	—
当期純利益 (当期純利益率)	8.6 4.7%	△ 5.8 △ 3.9%	△ 14.3 △ 8.6%	—
1株当たり配当金	0.0	0.0	—	—

# 売上高

(金額単位: 億円)

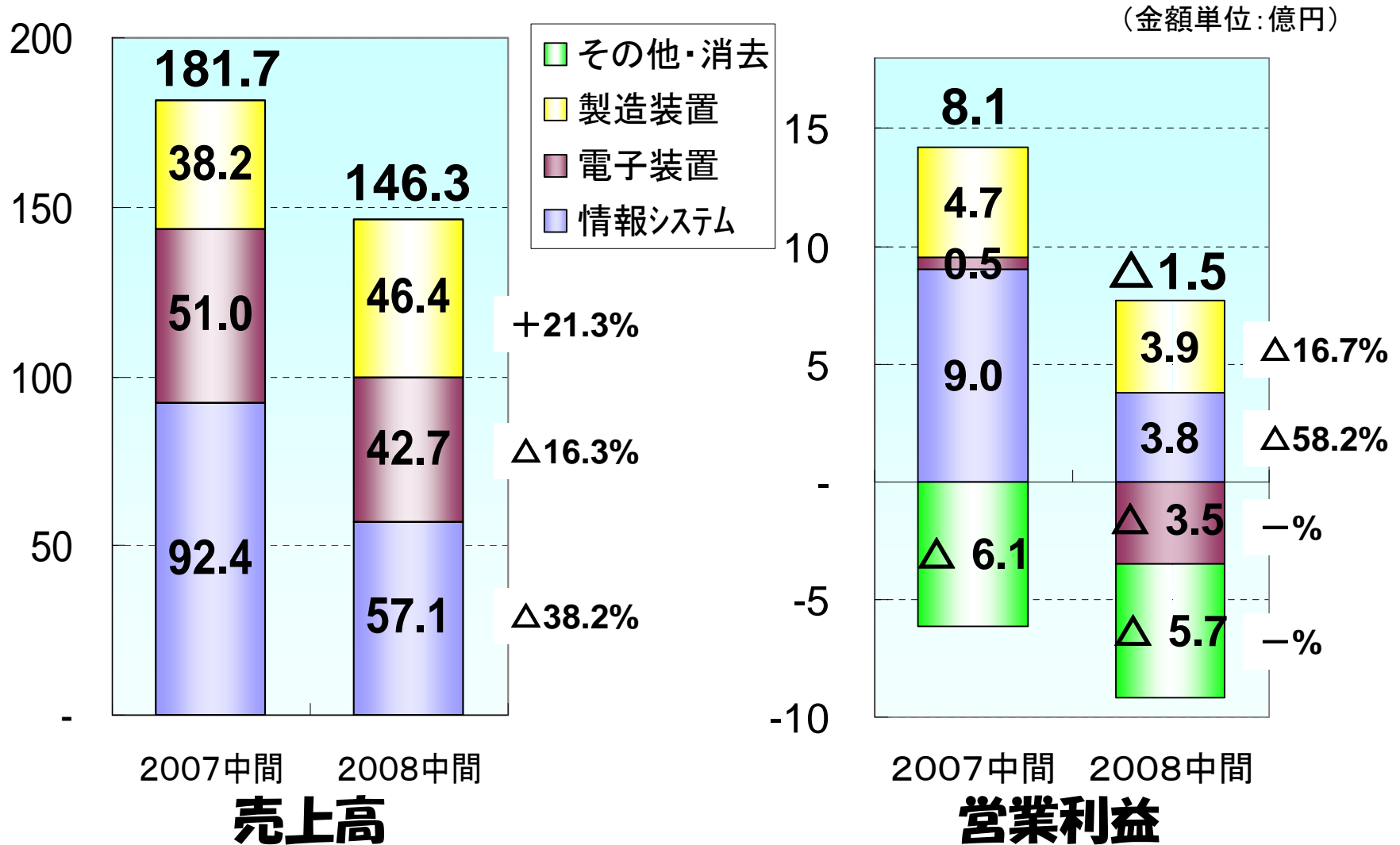
	2008年3月期	2009年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
情報システム	92.4	57.1	△ 35.3	△ 38.2%
電子装置	51.0	42.7	△ 8.3	△ 16.3%
赤外線・計測機器	34.9	28.8	△ 6.1	△ 17.5%
プロジェクタ他	16.1	13.9	△ 2.2	△ 13.5%
製造装置	38.2	46.4	8.2	21.3%
接合・検査装置	17.8	25.7	7.9	44.6%
高多層基板	20.4	20.7	0.2	1.1%
計	181.7	146.3	△ 35.5	△ 19.5%

# 営業利益

(金額単位:億円)

	2008年3月期	2009年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
情報システム 営業利益率	9.0 9.7%	3.8 6.6%	△ 5.2 △ 3.1%	△ 58.2%
電子装置 営業利益率	0.5 1.0%	△ 3.5 △ 8.2%	△ 4.0 △ 9.2%	—
製造装置 営業利益率	4.7 12.3%	3.9 8.4%	△ 0.8 △ 3.8%	△ 16.7%
その他・消去	△ 6.1	△ 5.7	0.5	—
計 営業利益率	8.1 4.5%	△ 1.5 △ 1.0%	△ 9.6 △ 5.5%	—

# 製品別業績





# 営業外損益・特別損益

(金額単位:億円)

営業外損益	2008年3月期	2009年3月期	
	中間決算	中間決算	増減額
営業外収益	0.6	0.6	0.0
受取利息および配当金	0.0	0.0	0.0
為替差益	0.1	0.0	△ 0.1
受取手数料	0.1	0.1	△ 0.0
貸倒引当金戻入益	0.0	0.2	0.2
その他	0.3	0.3	△ 0.0
営業外費用	1.5	1.5	△ 0.0
支払利息	1.2	1.1	△ 0.2
その他	0.3	0.4	0.2

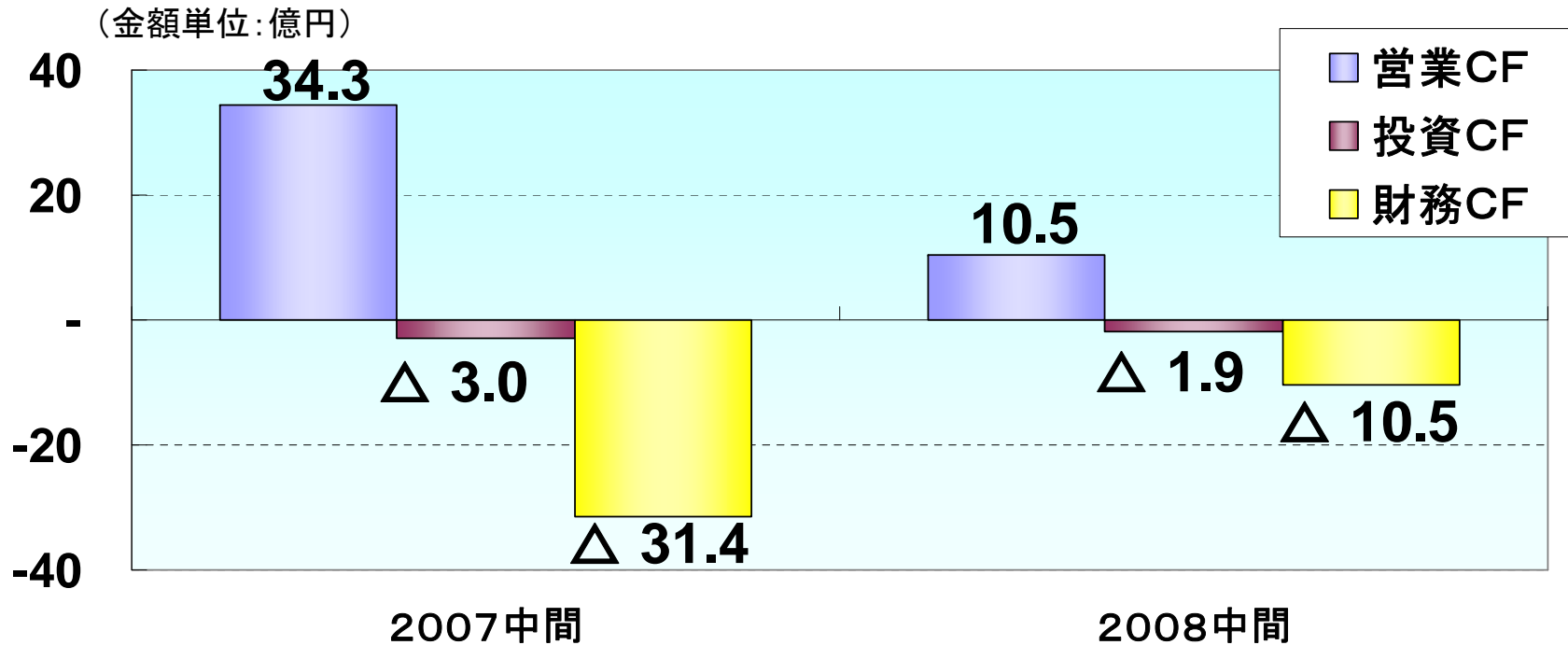
特別損益	2008年3月期	2009年3月期	
	中間決算	中間決算	増減額
特別利益	—	—	—
特別損失	0.1	2.7	2.6
たな卸資産評価損	—	2.6	2.6
固定資産除却損	0.1	0.1	0.1

# 連結貸借対照表

(金額単位:億円)

	2008年3月末		2008年9月末			2008年3月末		2008年9月末	
				増減額					増減額
流動資産	219.6	193.2	△ 26.4		流動負債	176.2	142.5	△ 33.7	
現金および預金	17.8	15.8	△ 2.0		支払手形および買掛金	62.4	48.4	△ 14.0	
受取手形および売掛金	94.8	71.2	△ 23.6		短期借入金	77.5	58.3	△ 19.2	
たな卸資産	97.3	96.2	△ 1.1		その他	36.3	35.8	△ 0.5	
その他	9.7	10.0	0.3		固定負債	64.5	77.8	13.3	
固定資産	111.1	109.5	△ 1.6		長期借入金	22.2	32.7	10.6	
有形固定資産	83.8	82.7	△ 1.1		退職給付引当金	29.1	31.9	2.7	
建物および構築物	22.0	21.8	△ 0.2		その他	13.2	13.2	0.0	
土地	48.5	48.5	—		負債合計	240.7	220.3	△ 20.4	
その他	13.3	12.5	△ 0.8		株主資本	71.9	64.3	△ 7.6	
無形固定資産	4.2	3.8	△ 0.5		資本金	51.5	51.5	—	
投資その他の資産	23.1	23.0	△ 0.1		利益剰余金	20.6	13.0	△ 7.6	
前払年金費用	15.2	15.6	0.4		自己株式	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0	
その他	7.9	7.5	△ 0.4		評価・換算差額等	18.1	18.1	—	
					純資産合計	90.0	82.4	△ 7.6	
資産合計	330.7	302.8	△ 28.0		負債純資産合計	330.7	302.8	△ 28.0	

# 連結キャッシュ・フロー



	2008年3月期	2009年3月期	増減額
	中間決算	中間決算	
フリー・キャッシュ・フロー	31.3	8.5	△ 22.8
有利子負債残高	100.0	91.0	△ 9.0
D/Eレシオ	1.05	1.10	0.05

## ■ 赤外線事業： NEC Avio赤外線テクノロジー(株)発足

- ・ リソース集中による新製品開発の加速
- ・ モジュール製品開発による新市場の開拓
- ・ 生産拠点を福島アビオニクスに集約しての生産革新
- ・ 米／独への海外駐在の設置
- ・ アライアンス案件の進展
- ・ 販売店との関係強化、新販売店会発足予定

## ■ 接合・検査装置事業

- ・ 接合ユニットは中国、韓国、東南アジアへPC・太陽電池関連アプリケーションを水平展開
- ・ 接合装置はMEMS市場の開拓順調
- ・ 検査装置は開発品のフィールド評価実施

- 【売上高】** 前期比△33.6億円(△9.2%)
- ・ 情報システムは大型プロジェクト端境期により大幅減
  - ・ 民需は新製品投入等により  
前期比+16.9億円(+8.9%)を計画
- 【営業利益】** 前期比△7.0億円(△46.7%)
- ・ 情報システムの売上高大幅減により減益
  - ・ 民需製品の研究開発投資注力
- 【配当金】** 普通株式期末配当金 6円／株を継続

# 2009年3月期業績見通し

(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期		
			増減額	増減率
売上高	363.6	330.0	△ 33.6	△ 9.2%
営業利益 (営業利益率)	15.0 4.1%	8.0 2.4%	△ 7.0 △ 1.7%	△ 46.7%
経常利益 (経常利益率)	12.6 3.5%	5.5 1.7%	△ 7.1 △ 1.8%	△ 56.3%
当期純利益 (当期純利益率)	3.5 1.0%	0.5 0.2%	△ 3.0 △ 0.8%	△ 85.7%
1株当たり配当金	6.0	6.0	—	—

# 売上高見通し

(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期業績見通し		
			増減額	増減率
情報システム	174.2	123.7	△ 50.5	△ 29.0%
電子装置	107.8	114.6	6.8	6.3%
赤外線・計測機器	75.7	79.0	3.3	4.4%
プロジェクタ他	32.1	35.6	3.5	10.8%
製造装置	81.6	91.7	10.1	12.4%
接合・検査装置	40.8	49.2	8.4	20.7%
高多層基板	40.8	42.5	1.7	4.2%
計	363.6	330.0	△ 33.6	△ 9.2%

# 営業利益見通し

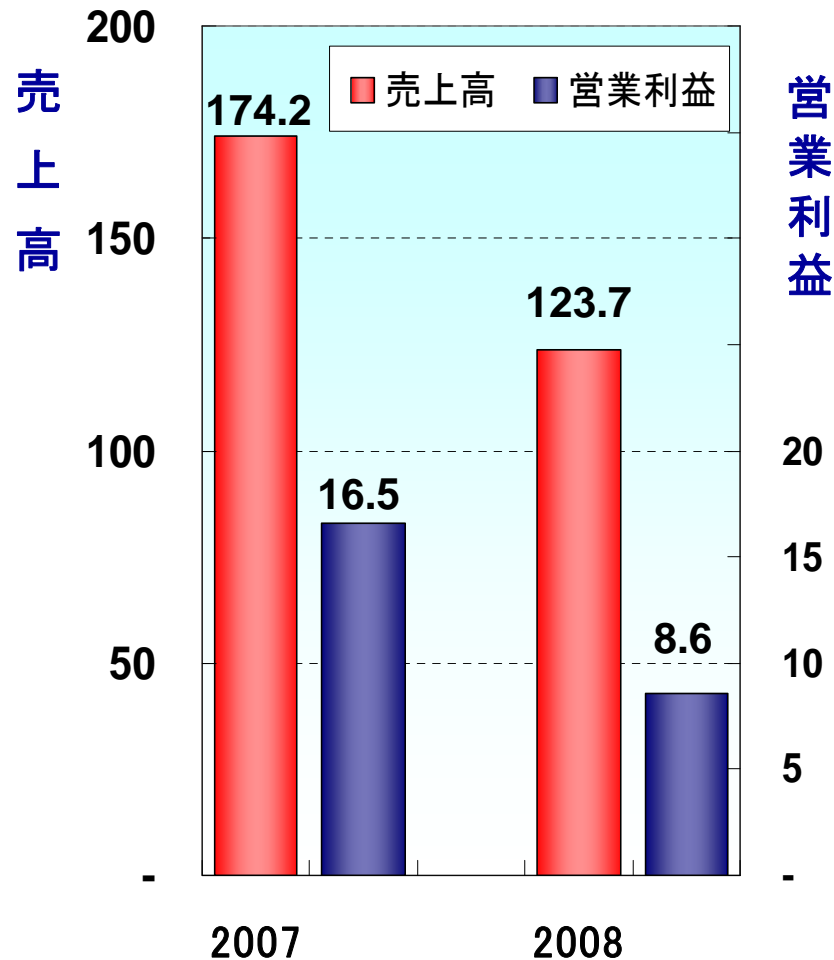
(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期見通し		
			増減額	増減率
情報システム 営業利益率	16.5 9.5%	8.6 6.9%	△ 8.0 △ 2.6%	△ 48.3%
電子装置 営業利益率	0.9 0.9%	2.1 1.9%	1.2 1.0%	131.2%
製造装置 営業利益率	9.3 11.3%	8.8 9.5%	△ 0.5 △ 1.8%	△ 5.5%
その他・消去	△ 11.7	△ 11.4	0.3	—
計 営業利益率	15.0 4.1%	8.0 2.4%	△ 7.0 △ 1.7%	△ 46.7%



# 製品別業績見通し（情報システム）

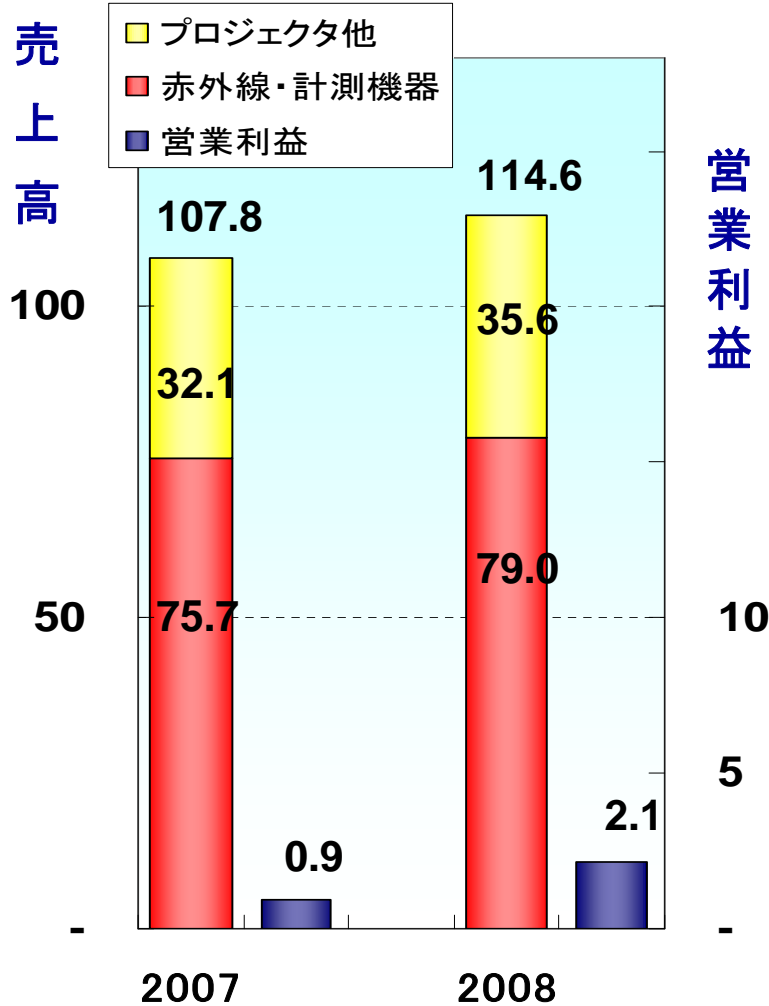
（金額単位：億円）



- **基盤事業として着実な事業遂行**
  - 2008年度は大型プロジェクト（艦船建造計画等）の端境期のため、売上大幅減
  - 次期以降の事業拡大に向けた受注活動の推進
- **非防衛ビジネスへ積極展開**
- **次期中期防衛力整備計画提案に向けたアライアンス強化**

# 製品別業績見通し（電子装置）

（金額単位：億円）



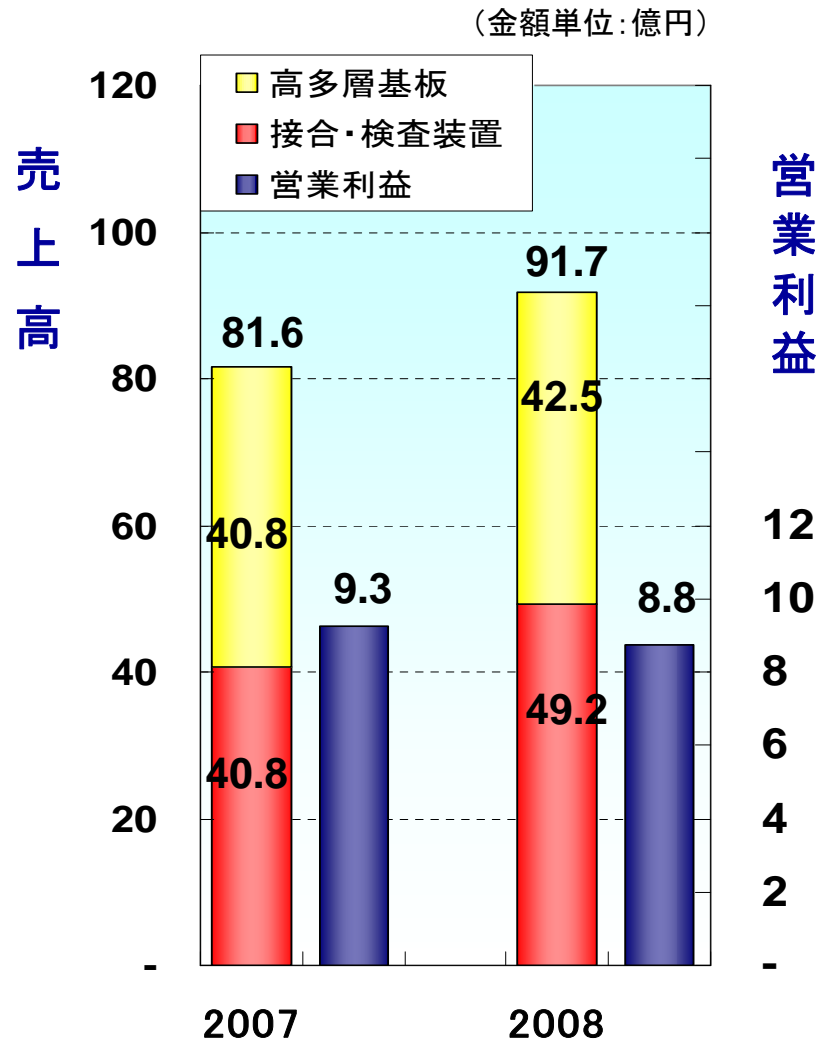
## （赤外線／計測機器事業）

- 新製品の垂直立ち上げ
  - － 赤外線機器 低価格機市場本格参入
  - － 計測機器 アプリケーション整備
- モジュール事業拡大
  - － サンプルから量産対応、アライアンス
- 米国・欧州新拠点による海外販売拡大

## （プロジェクト他）

- 差別化戦略徹底、市場シェア堅持・拡大
- パートナーとの連携強化

# 製品別業績見通し（製造装置）



## （接合・検査装置）

- 市場変化への積極対応によるシェア拡大
- 重点市場の徹底攻略
  - MEMS(センサ)市場
- 新製品による競争力強化

## （高多層基板）

- 高付加価値指向の徹底
- 新規顧客の積極開拓
  - 生産革新による短TAT推進

# 2010年に向けて

2008年2月公表の中期経営計画の実現を目指す

## 飛躍のステージへ！ 市場創造型企業へ転換！

■ 民需事業を積極展開 CAGR34%で売上高2.5倍へ

特に、ニッチでも高いシェアと技術力を有する  
赤外線マーケット創造と接合・検査装置の  
市場深耕に事業戦略の重点を置く

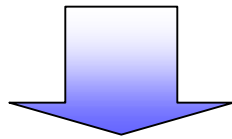
■ 防衛事業は堅持

- ・ 永年にわたる信頼と実績で基盤事業として堅持
- ・ 技術の集積により底堅い売上を確保

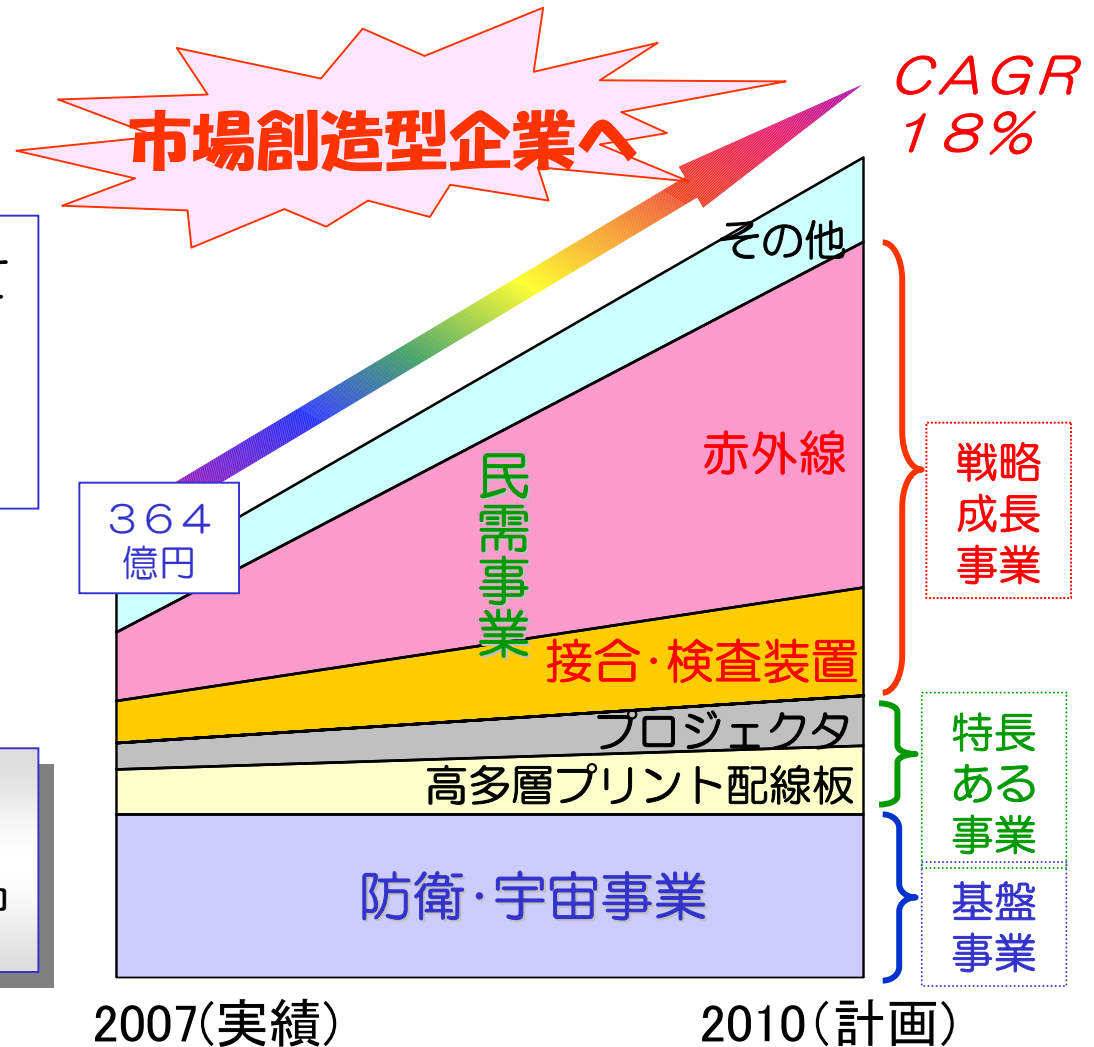
本中計期間中 CAGR18%を目指す！

# 事業成長のイメージ

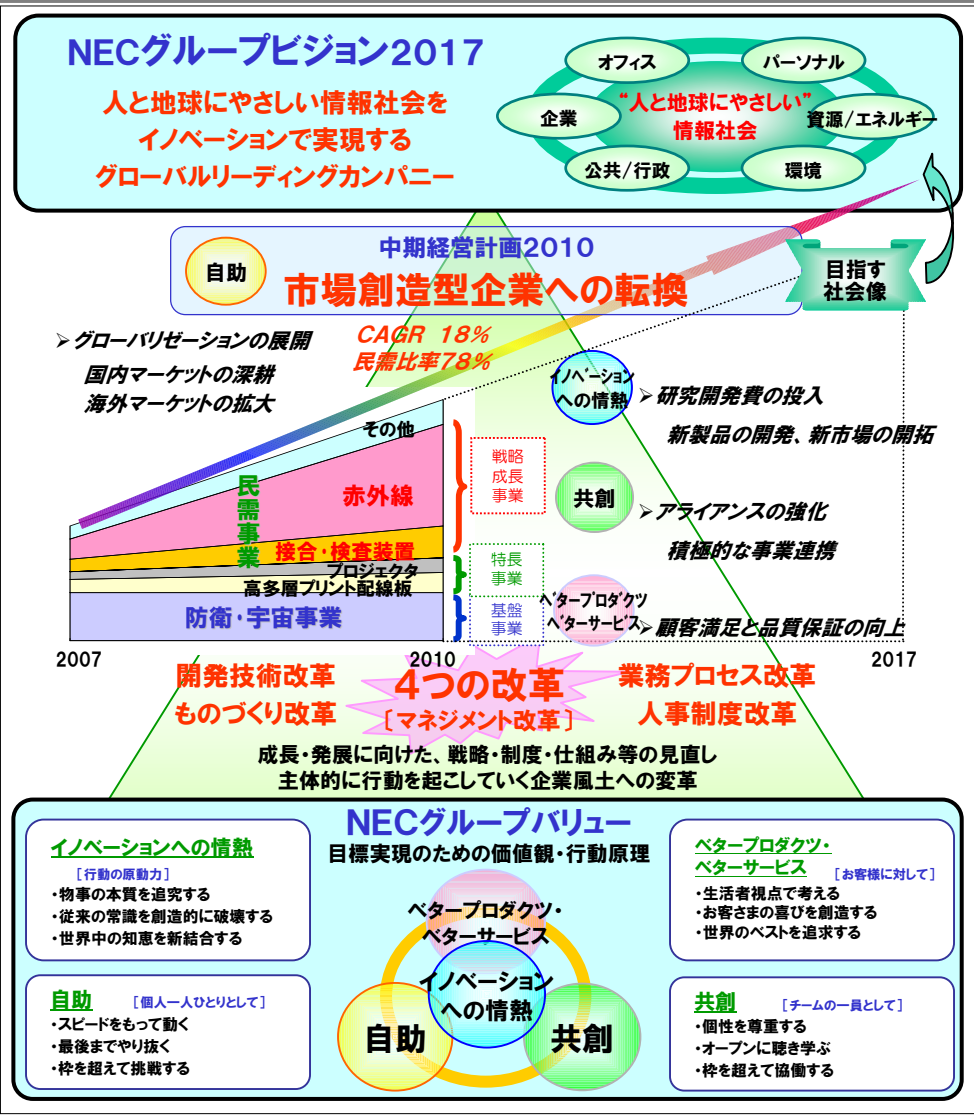
足元は世界的な景気減速によって  
先行き不透明感は増しており  
初年度は厳しい経営環境



目指す事業ドメインは急拡大  
2010計画実現に向けて邁進中



# 経営改革の取組み



## 本資料取扱上の注意

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向により、記載された業績見通しとは異なる場合がありますことをご承知おきください。

